

## 領域分担・・・多様化した攻防形態に対するレフェリーの準備

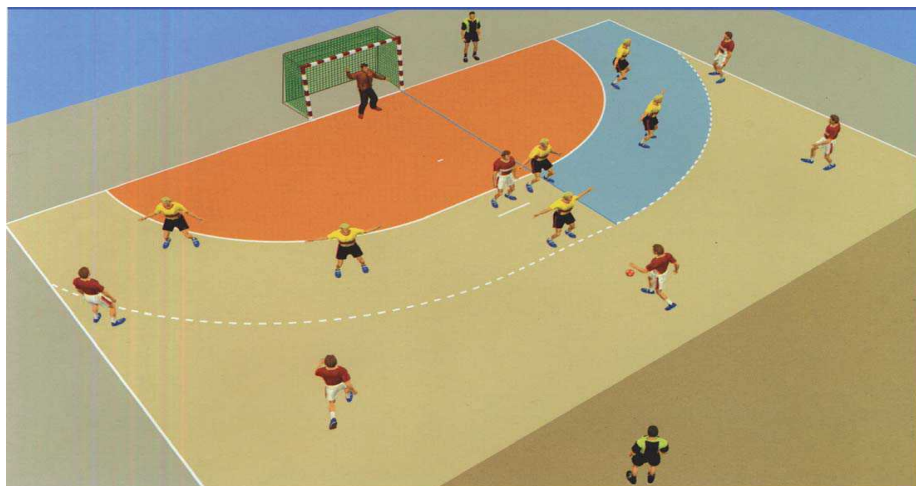
※2人で同じプレーを観察しない

※自分の位置で、責任領域(判定を任されるかどうか)が決まる

※自分の責任領域であれば、判定は(笛を吹く、吹かない問わず)すべて自分が任されていると思うこと。

※ペアの責任領域であれば、決して自分から笛を吹こうとしない。(差し違え等の防止、説得力につながる)

(1) 通常の攻防 6 : 6



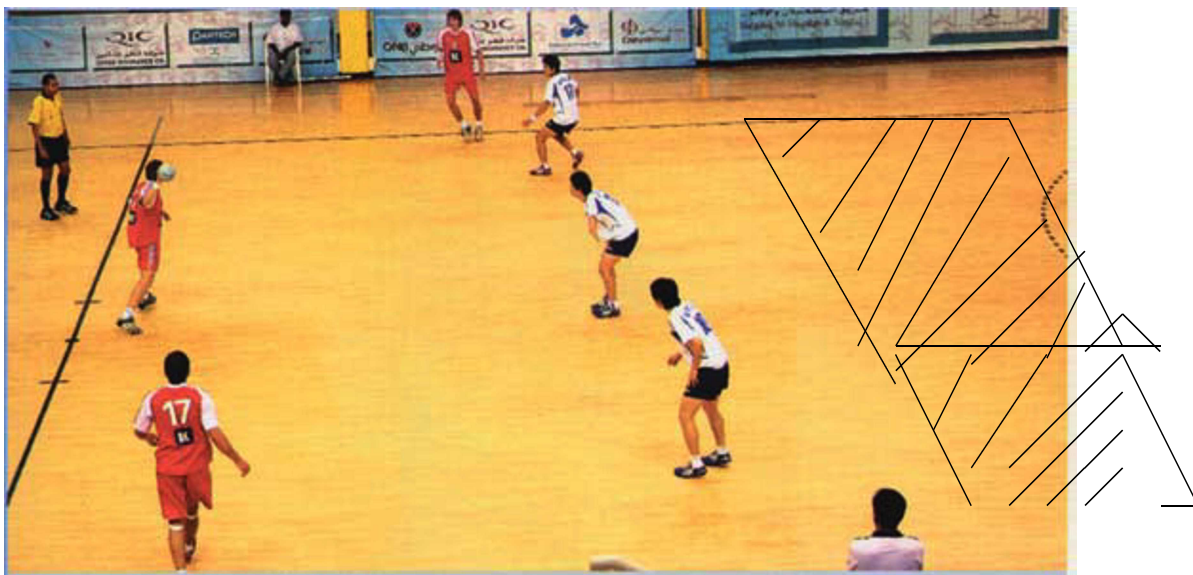
コートレフェリーは、ボールに近いところの反則と公式のスロー（スローオフ、フリースロー、7mスロー）を扱わなければならない。また、タイムアウトの合図、および通常、タイムキーパーテーブルとのコンタクトを密にとる。

ボールのないところでのプレイの事実をみることが重要になっている中、ゴールレフェリーの責務はずいぶん変わってきた。以前は、原則としてゴールエリアへの侵入、ゴールの確認、自身サイドのゴールエリアとフリースローラインの間の反則をみることを期待されていた。しかしながら、現在、もっと広い範囲の観察が要求される。

(2) マンツーマン：マンツーマンディフェンスに対する対応・・・決して2人を視野外に置かない（レフェリーに観察されているという認識を持たせる）

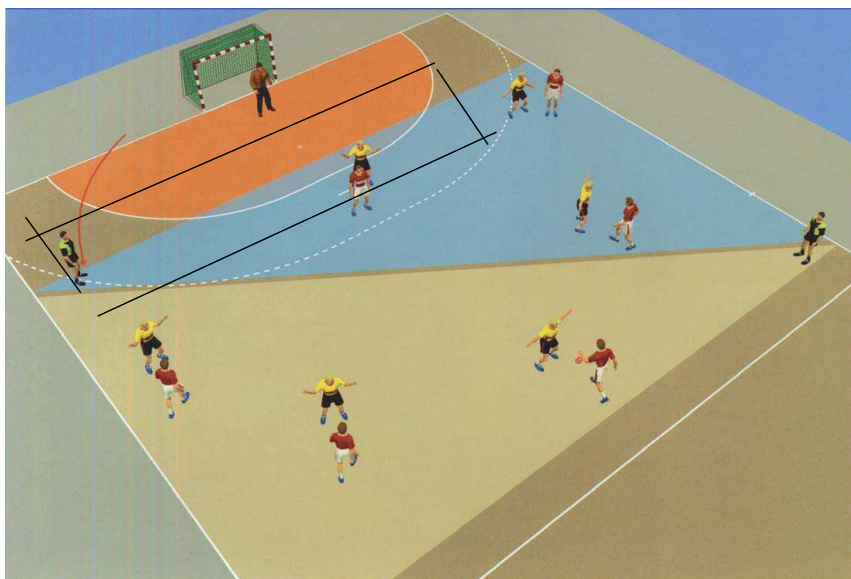


- (3) 4 : 2 3 : 3等の特殊ディフェンス  
 ※防御側の意図は？（レフェリーの心の準備）  
 ・・・・パッシブプレー、ステップ、



上写真の場合、防御側（白）の後方の責任領域は、ゴールレフェリーとなる。  
 （コートレフェリーからは見えない）

- (4) オールマンツーマン：明確な分担をし、コート全体から決して目を離さない。  
 ボールを持たないプレイヤーの観察が、そのほかの防御形態以上に重要になってくる。ゴールエリア際の判定はすべて、ゴールレフェリーに任せる。



**レフェリーは最新の防御システムに対して柔軟に適應しなければならない。**

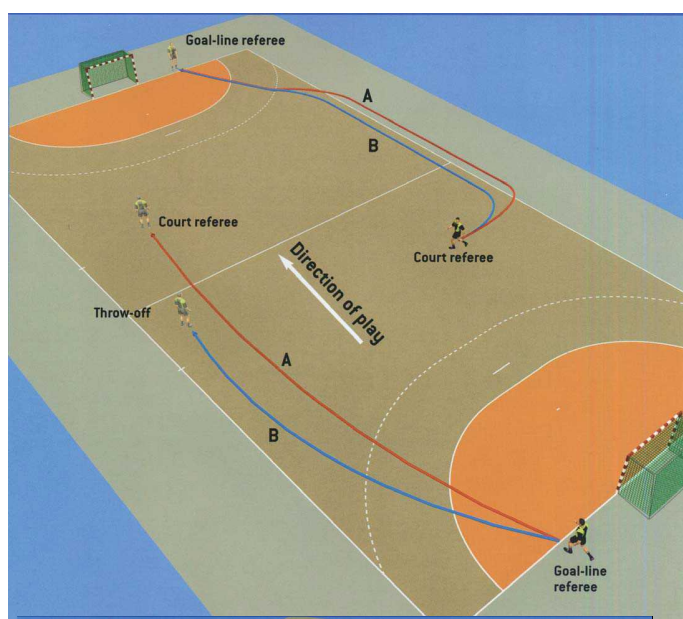
過去には、いくつかの防御システムが通常用いられており（6-0、3-2-1防御）、最近の防御システムはとくに柔軟になってきた。多くのチームが一試合の中で得点に応じて、ま

た、試合中何回も防御システムを変化させる。何よりもまず、コートレフェリーはすぐに反応し、通信機器等を利用して、防御形態に応じて適応させることが求められる。例えば、6 - 0 防御が行われたら、コートレフェリーは、オフェンシブな3 - 3 防御よりも攻撃展開に近づく必要がある。もし、3 - 3 防御が行われたら、プレーの向きやアタックの強度によってセンターライン付近か、より後ろに下がらなければならない。状況に応じて、一方のサイドライン方向へ動く必要もある。その場合、ゴールレフェリーの責任領域が6-0と比較して、広範囲になる。

マンツーマンマークは特にトリッキーである。もし、得点力のあるバックコートプレーヤーが後ろの方にマークされたら、コートレフェリーは同じサイドにいたら、プレーヤーの邪魔になってしまうであろう。その場合、ゴールレフェリーの同意を得て、すばやくサイドを変え、対角線を変える必要がある。ゴールレフェリーは、マンツーマンマーク時には、広い視野を持ち（ボール中心の）プレーヤー間の攻防も注視しなければならない。レフェリーは基本ポジションにじっとしてはいけい。大変柔軟であり、アタッカーを自陣コートへ追いやろうとする。コートレフェリーは、どんなパスや走るコースにも妨げにならないように反応しなければならない。退場者が出た後や、チームタイムアウトの直後、また、後半や延長の開始に合わせてチームが柔軟的に仕掛けてくることを想定しておく必要がある。

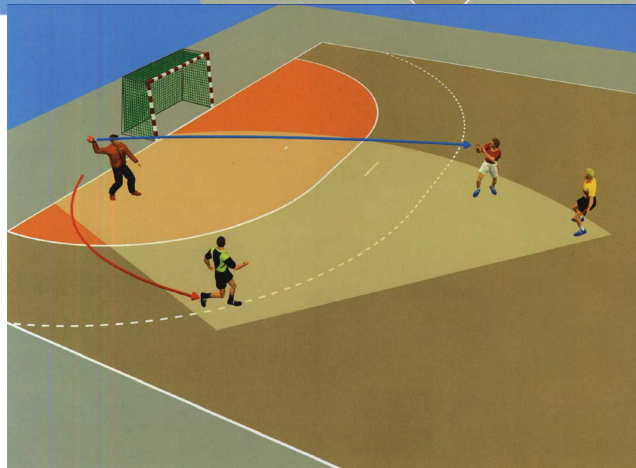
## 走り・位置どりについて……次のステージをめざして

- CR → GR になる際、コートに背を向けない動きの工夫を。笛をサイドライン側の手に握る等。ターンオーバーの判定の後、違反したプレーヤーとボールから目を離さないように。



- CR はボールの展開に合わせて移動するのではなく、展開の流れを読んだ動きを。選手がドリブル等ボールをコントロールしているときは、そのボールが見えるように斜め後方から観察できる位置をとる。真後ろになると、正しい防御動作（ドリブルカットやチャージング・シミュレーション）なのかどうかはわかりにくい。

- GK スロー時は、GK の観察をしながら移動する。ボールが投げられてから移動しては遅れる。次の起こりうる攻防の場所をさがすこと。



- GR は2つの視野を
  - ・直接視野・・・ゴールエリア際のボールとは関係ないプレーヤーの観察
  - ・間接視野・・・ボールの展開を間接的にとらえる

<領域分担と関連して>

- ゴールエリア際、または **GR** として自分の目前ではボールを持ったプレイヤーの観察および最終の判定の責任を負う。それ以外についてはボールの展開は **CR** に任せ、観察責任以外の判定は慎む。**GR** は笛を吹こうと思ったら、吹く前にそれが本当に必要かどうか確認すること。
  
- **CR** はフリースローを判定した際、ポイントに近づく。違反したプレイヤーと目を合わせたり、3 mの距離や、正しいポイントからのスローが行われているかどうかやることはたくさんある。笛が鳴るとプレーは止まるが、笛を吹いてからのレフェリー仕事はたくさんある。